

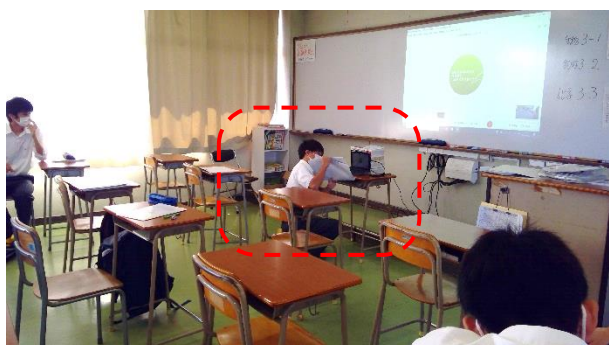
関高ニュースレター2020 No.13

科学の甲子園に向けた合同学習会 2 交流会当日

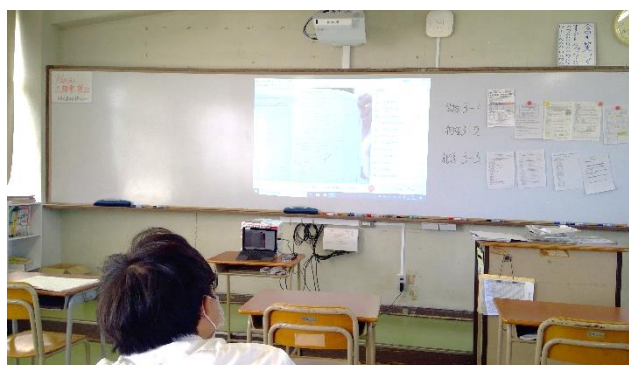
令和2年9月12日

12日の当日は、参加校同士で学校紹介等の交流を行ったのち、解答の検討や交流、出題の意図の説明が行われました。今回は Web 会議システムを利用したこともあり、岐阜県以外にも愛知県、三重県、福井県、長野県の高校も参加しました。

検討会の中では、解答を始めるに至る過程や、実験を組み立てる上で工夫した点・改善点、また、測定結果の数値的な扱いやグラフ作成の工夫といった内容が扱われました。「科学的」な探究に必要とされる「実証性」、「再現性」、「客観性」を考える良い機会となりました。



実験データを他の参加者に示す様子



他の参加者が発表している様子



他の参加者と直接やり取りする様子



測定値の扱いについても、自分たちのデータをもとに考えました。

参加した生徒の感想

- ・ 解答・解説を聞いて、改めて難しいと感じた。初めからあたって砕け散るつもりで臨んでいたため、今回失敗したこと、分からなかったことを次に生かそうと思う。
- ・ 例年とは違いオンラインという形になってしまったが、普段の日常では味わうことができないとてもいい経験となった。
- ・ 正答出来た問題もいろいろな考え方を学ぶことができた。
- ・ 数学では、先生方が説明してくれたことは理解できたものの、化学では、一部は全く理解することができませんでした。早めの予習として化学に手をつけようと思いました。貴重な機会を無駄にしないようにしたいです。オンラインでも他県の高校のみなさんの雰囲気を知れてよかったです。貴重な機会をありがとうございました。
- ・ 他の学校の人から、いろんな発送などを聞いて、理解が深まったことや、生かしたいと思うところもあってとてもよかった。交流で得られたことは、発想だけでなく、記述の仕方なども甲子園当日やそのほかの時でも使えたらいいなと思います。実験を含め、解説を聞いて、「なるほど」と思うところも多く、楽しかった。